

紅茶報告書

BOO総研J 喫茶部

2012/6/27

目次

- はじめに
- 最近の紅茶
- 世界三大紅茶
- お茶、あれこれ
- ダージリン紅茶情報
- ダージリン用語集
- 参考

はじめに

茶族を自称するほどBOO総研Jの研究員は紅茶好きです。BOO総研J喫茶部ではこれまでに扱った紅茶についてレポートを作成し、今後の紅茶購入の参考にしています。

ここでは、それらのレポートや最近の紅茶に関する話題などを載せていきます。

なお、このレポートの内容はBOO総研Jの主観によるものであり、絶対的なものではありません。

最近の紅茶

シントン茶園 1st EX-1 — 英(50g／1575円)

これも初めての茶園。強烈な渋みで、苦い、と感じる。ここまで刺激のある渋みは初めてだ。入れる前の茶葉はソーダ香なのに、入れると普通の紅茶だ。でも、苦渋い。

セリボンヌ茶園 秋 DJ-212 — 英(50g／1575円)

とにかく葉が赤い。赤茶に染まった紅茶葉。淹れるとビニールっぽい香り。期待外れだ。渋みはマイルド。全体的にスリランカ系の紅茶のようである。

今後の予定。。。。

シーヨーク茶園 秋 2009 DJ-144 えいこく屋(50g／399円(特価))

世界三大紅茶

誰が決めたか知らないが、世界三大紅茶というのがある。

その中でも王様ともいうべき紅茶が、ダージリンである。インド北部のダージリン地方で産出する紅茶で、上等なものはマスカットフレーバーが楽しめる。

次に挙げられるのがスリランカのウバ茶。水色の美しさ（ゴールデンリング）とメントール香に特徴がある。2009年にチャレンジしたが、独特の香があるものの、すっとした爽快感のあるメントール香とは違うようだ。

最後はキーマン。中国の祁門で産出される。10年以上前に試したきりである。そのときの印象は、スルメのような香りで、紅茶という概念からは大きく外れたものであった。

キーマン紅茶

世界三大紅茶の項でも書いたが、キーマンはその一つである。これを20年ぶりに飲む機会を得た。注文した紅茶にオマケでついてきたのだ。

封を開けると、すぐさま独特のスモーキー香が漂った。イカの干したものの。そんな香りだ。これが紅茶か？ と思う。蘭の香りと賞賛されるらしいが、どうみてもイカ臭だ。茶葉もスモーキー感満点で、針のように細く揉まれた紅茶は、青黒い茶葉をいぶしたような白っぽさが包む。

淹れてみると、やはりイカの干物香が広がる。飲んだときに、塩辛さがないのが不思議なくらいだ。口の中にも強烈に香が広がる。ウーロン茶のように口をさっぱりとさせる作用がありそうだ。さすが、中国茶。

(2011/6/6)

クイーンズ・キームン 2010年 China Anhui Keemum Tea Factory
リンアン

キャンディ紅茶

オマケ紅茶の第二弾。キャンディ紅茶である。

キャンディ紅茶は、スリランカの紅茶である。名前は聞くんが、詳しくは知らないんで、こういう機会でもないとなかなか飲まない。

紫がかった漆黒の美しい茶葉。BOPで綺麗にそろえられている。

淹れると、メントールのような香がする。紅茶なのだけれど、それを越えたところにメントールのような少し刺激的な香がするのだ。メントール香は、ウバ茶の特徴なのだけれども、本家を上回るのではないだろうか。

味はやさしい渋みにほんのりとした甘さを感じる。とても美味しい紅茶である。これなら、買ってもいいなと思わせる。

(2011/6/14)

ハンターナ茶園 2010年 BOP Kandy リンアン

ネパール紅茶

ダーズリン紅茶を注文したら、試供品としてついてきた。

茶葉はダーズリンそのもの。シルバーチップも混じる。葉の香りもソーダ香のようで、ダーズリンでもこういうお茶があったように思う。

これは期待できる。

淹れてみると、薄い水色である。香りは薄いなぁと深く吸い込むとカルダモンのようなキツく尖った香が突く。飲み口も薄いような感じの後に、かすかに纏わりつくような味が残る。そこが、着香紅茶のようでもあり、残念だ。

(2011/6/8)

ネパール・ジュンチャバリ茶園 2009年 HOR リンアン試供品

お茶、あれこれ

ある宿で出るお茶がおいしい。旅館などで部屋へ通されると、だいたい座卓があってお茶のセットが置かれている。ここでどんなお茶が用意されているかで、宿のこだわりが見て取れる。ここは普通の茶筒に緑茶が用意されている。そして、これが美味しいのである。香がよくてほっとする。普段使いの茶器ながら、心地よい。和の宿で感じる最初のもてなし。これを大切にしている。

また、食事の時に出てくるのが、ほうじ茶。これが何杯いれても美味しい。野沢菜もあったりして、お茶漬けにしたり、つまみにしてお茶を飲む。香りいいほうじ茶に、食後にもほっと感が得られる。ほうじ茶って、こんなに美味しいものなのか。食事の美味しさをうまく締めくくってくれる。

美味しい緑茶

お茶の品評会で入賞したお茶を試飲するイベントが、岐阜県農業フェスティバルで行われた。BOO総研Jでもこのイベントに参加した。お茶は揖斐茶で、メジャーなお茶処ではない。

袋から出されたお茶は緑濃く黒っぽい。撚られて針のようである。ポットから湯冷まし用の急須に注ぐこと2回、70度程度に冷ました状態で、湯飲みに注ぎフタをした。1分程度蒸らした後、フタをずらして湯飲みからお茶をすすする。

これは、お茶か？ 何かのお出汁をすすっているようである。よいお茶を低温でいれると、旨み成分が抽出されるのだそうだ。まさに、お出汁である。2番、3番とすすっていくとお茶の渋みも表われる。ごちそうさまでした。

紅茶の香

ダージリンの香りについては、いくつかに分類できる。今までの経験から、その分類についてまとめてみた。

【フラワー系】

文字通り花のような香り。さわやか感のある甘い香り。

【フルーティー系】

果物のような甘い香り。コクのある甘い香り。

【マスカテル系】

ダージリンの本髄、マスカットフレーバー。

【漆黒系】

濃いマスカットフレーバーに渋味を合わせた香り。

【渋茶系】

渋みが先立つお茶の香り。

ダーズリン紅茶情報(1/8)

★★★	購入	摘年	茶園名	DJ	季節	グレード	値段	コメント
—	英	2012	シントン	EX-1	1st	—	¥1575/50g	これも初めての茶園。強烈な渋みで、苦い、と感じる。ここまで刺激のある渋みは初めてだ。入れる前の茶葉はソーダ香なのに、入ると普通の紅茶だ。でも、苦渋い。
—	リン	2011	キャッスルトン	DJ-21	1st	FTGFOP1 (CH-SPL)	¥2400/70g	茶葉は少しソーダのような香りだった。いざ、入れてみると、軽いダーズリン香、強いて言えばマスカテル系。1stフラッシュとしては成熟した香り。でも極薄い。水色も薄いオレンジである。味も基本的には薄いんだけど、しっかりとした渋みがあるので、意表を突く。
★	リン	2010	オカイティ	DJ-15	1st	FTGFOP1 (EXCEL)	¥2350/60g	ほんのり花のようないい香り。水色は薄めなのに、しっかりした味がする。渋みとは違ったお茶の味。少し多めの茶葉で淹れるとよい。
—	リン	2010	リシーハット	DJ-17	1st	SFTGFOP1	¥2350/70g	ほのかに緑茶のようなさわやかな香がする。香が薄いのは1stだから。味も薄い、多目の茶葉でゆっくり抽出するとよい。
—	リン	2009	ジュンパナ	DJ-14	1st	FTGFOP1	¥2200/70g	渋い。とにかく渋いのだ。苦味にも通じる渋味だ。香りはほとんどたたない。口の中で転がすと、少しひねた感じの香りがした。そういえば、淹れる前の葉も、乾物にありがちなひねた香りがした。
...

購入について

英: えいこく屋、リン: TEAS Liyn-an

BOO総研J

12

ダーズリン紅茶情報(2/7)

★★★	購入	摘年	茶園名	DJ	季節	グレード	値段	コメント
—	リン	2009	キャッスルトン	DJ-37	1st	FTGFOP1 (SPL-CH)	¥2400／75g	少し緑茶を思わせる若い香りでいっぱい。水色も明るいオレンジ色である。味は優しく、渋味は少ない。1stフラッシュとしては落ち着いた味である。
—	英	2009	キャッスルトン	DJ-1	1st	SFTGFOP1 China	¥1575／50g	葉自体がかなり緑色で紅茶に見えない。薄緑茶色。淹れてみると香りはあまりたたない。かすかにキュッと渋味主体を連想させる香りがするだけだ。味も強くキュッと渋味が出ている。水色はしっかりしたオレンジ色できれいだ。
★	リン	2008	プーボン	DJ-1	1st	—	¥1200／40g	1stらしく青っぽさがあり、薄い水色ながら、まずまずの味、香り。
—	リン	2008	タルボ	DJ-58	1st	—	¥1300／40g	アベレージ。
—	リン	2008	マーガレットホープ	DJ-22	1st	FTGFOP1	¥2200／75g	香りは極めて薄い。味も薄い。茶葉が少ないだけかもしれない。茶園のネームバリューに惹かれたが、紅茶としてはまいちだ。
...	

ダーズリン紅茶情報(3/8)

★★★	購入	摘年	茶園名	DJ	季節	グレード	値段	コメント
ー	リン	2011	キャッスルトン	DJ-188	2nd	FTGFOP1	¥3000／70g	だんだん値が上がっていきますね。マスカテル系と漆黒系の間のような香り。基本的にはマスカテル系かな。まずまずの香りだし、渋さまではいかないがしっかりした味わいである。水色も濃い。力強い紅茶であった。
ー	英	2010	キャッスルトン	DJ-106	2nd	TGBOP China SPL	¥1050／80g	ダーズリンとしての個性も薄まり、ティーバッグ的な味わい。BOPとOPの差は大きいようだ。
ー	英	2010	セリボンヌ	DJ-54	2nd	FTGFOP1 China	¥1575／80g	China種のせいだろうか。ウーロン茶のような油分洗い流し系の味わい。香りもあまりたたくず、ダーズリンの2ndフラッシュとしては不満が残る。駄茶。
...	

ダーズリン紅茶情報(4/8)

★★★	購入	摘年	茶園名	DJ	季節	グレード	値段	コメント
—	英	2010	シングル	DJ-45	2nd	FTGFOP1 CL	¥1575／80g	ほんのりとダーズリン香が香る。渋みも少なく素直な味わいである。長時間(20分以上)ポットで蒸らすと、味は濃くなるが素直さが残る。まずまずのダーズリンである。
★	英	2010	マーガレットホープ	DJ-156	2nd	SFTGFOP1 (MUSCATEL)	¥1575／50g	漆黒系マスカットフレーバーが香る。口に入れた瞬間の渋みは弱く素直な味わいである。長時間(20分以上)ポットで蒸らすと、しっかりした渋みも感じる。水色は濃いオレンジ色で、しっかりしている。ダーズリンらしいお茶だ。
—	リン	2010	マーガレットホープ	DJ-??	2nd	FTGFOP1 (CH-SPECIAL)	¥2400／80g	ほんのりとマスカットフレーバーがする。水のようなすっきりしていて、口の奥でお茶の味が響く。渋みは弱くマイルドな味わいである。水色は濃いオレンジ色で、しっかりしている。
★★	リン	2010	リシーハット	DJ-233	2nd	SFTGFOP1 (WIRY-MUSK)	¥2700／80g	しっかりしたマスカットフレーバが香る。水色は濃いものだけれども、味は渋みが少なくあっさりしている。味と香りのアンバランスが面白い、いい紅茶だ。
...	

購入について

英: えいこく屋、リン: TEAS Liyn-an

BOO総研J

15

ダーズリン紅茶情報(5/8)

★★★	購入	摘年	茶園名	DJ	季節	グレード	値段	コメント
—	リン	2009	サングマ	DJ-226	2nd	SFTGFOP1 (CHINA-Classic)	¥2200／65g	味も香も薄い。特徴なく平板。冷めるくらいまでポットに入れておくと、ようやく少し渋味がでくる。
—	リン	2009	マーガレットホープ	DJ-??	2nd	SFTGFOP1 (KAKRA MUSK)	¥2400／80g	漆黒系のダーズリン香。水色濃く、味もしっかりしていて2ndフラッシュらしい。香にもう少し甘さを期待したい。
—	リン	2009	サングマ	DJ-??	2nd	SFTGFOP1 (KAKRA MUSK)	¥1200／30g	香は一級品だ。甘くてマスカットフレーバーが感じられる。水色も濃いオレンジ。味が薄く平板で、香とのギャップが大きい。冷めると、ほんのりした甘みは感じられた。
—	英	2009	カレッジバレー	DJ-170	2nd	Special China	¥1050／50g	葉はソーダ香がする。淹れると渋めの茶の香りにほんのり甘い香が乗る。一口すすると強い渋味がきて、舌先にほんのり甘さを感じた。飲み進むと、舌が慣れて少し平板な印象だ。
—	英	2009	プッタボン	DJ-241	2nd	KAKRA MUSCATEL	¥1050／50g	葉はソーダ香がする。いれると水色は濃いオレンジ色。味も軽い渋味でしっかりしている。
★	英	2008	キャスルトン	DJ-119	2nd	MUSCATEL	¥1575／50g	よい香り。少し秋摘みのような渋味系の香り。味も渋味が強くパンチがある。水色も濃い。
...	

購入について

英: えいこく屋、リン: TEAS Liyn-an

BOO総研J

16

ダーズリン紅茶情報(6/8)

★★★	購入	摘年	茶園名	DJ	季節	グレード	値段	コメント
—	英	2008	ロヒーニ	DJ-66	2nd	ENIGMA	¥1050／50g	大振りの茶葉。時間のほどに濃く入る。渋味も強く濃い目の水色。パンチがあるところはよいが、香らない。香りはダーズリン的ではなく、なんとも形容しがたい。
—	英	2008	バダンタム	DJ-66	2nd	—	¥1050／80g	味、香りともに淡い感じ。ほんのり甘い香りがする。長い時間ポットに入れたままにしても、香や渋味はほどほどである。
—	英	2008	タルボ	DJ-194	2nd	—	¥1050／50g	手ごろな値段にひかれて買って見た。味、香りともに薄い印象である。少し葉を多めにすることでよい香りがたってくる。味の薄さは変わらない。葉を入れたまま10分以上おいておくと、味がたってくる。
—	リン	2008	マーガレットホープ	DJ-207	2nd	FTGFOP1 (CH-SPL)	¥2300／80g	漆黒というイメージのダーズリン香。深いです。もう少し奥行きが欲しい。味はあっさり、薄い。長くポットに置いてから味わうと渋味ベースの味がする
—	リン	2008	プッタボン	DJ-401	2nd	SFTGFOP1 (CH-FLRY)	¥1850／70g	漆黒系のダーズリン香。バラのようでもあり、深い香り。味は意外とあっさりしている。やや薄いような気もするが、こんなものかも。1杯目は渋味は少ないが、長くポットに置けば時間とともに渋味が増す(当たり前だけど)。
...	

購入について

英:えいこく屋、リン:TEAS Liyn-an

BOO総研J

17

ダーズリン紅茶情報(7/8)

★★★	購入	摘年	茶園名	DJ	季節	グレード	値段	コメント
—	英	2012	セリボンヌ	DJ-212	秋	—	¥1575／ 50g	とにかく葉が赤い。赤茶に染まった紅茶葉。淹れるとビニールっぽい香り。期待外れた。渋みはマイルド。全体的にスリランカ系の紅茶のようである。
—	リン	2011	バーネスベッグ	DJ-175	秋	FTGFOP1	¥2300／ 75g	あまり聞きなれぬ茶園で、初めて注文する。香りはスリランカ系(ウバやキャンディ)の紅茶を感じさせる。ダーズリンらしくない紅茶である。渋みも少なく、ニュートラルである。すなわちクセがない。冷めると甘みを感じた。
—	リン	2010	セリボンヌ	DJ-221	秋	FTGFOP1	¥1300／ 35g	渋茶系の香でカルダモンの凝縮した香りも含んでいるように思う。やや重い感じがする。味は全体に軽いんだけど、そのカルダモンの凝縮を反映した渋み残る。水色は明るいオレンジである。
—	英	2010	キャッスルトン	DJ-368	秋	FTGFOP1 China Special	¥1575／ 50g	花のような香がする。少し甘みがあり渋みは少ない。普段使いの飽きないダーズリンである。ベーシックなダーズリンに丁度よいが、有名茶園ということもあり少し値段が高い。
...	

購入について

英:えいこく屋、リン:TEAS Liyn-an

BOO総研J

18

ダーズリン紅茶情報(8/8)

★★★	購入	摘年	茶園名	DJ	季節	グレード	値段	コメント
—	リン	2009	シンゲル	DJ-128	秋	FTGFOP1	¥230／ 80g	香ばしさがある花の香がする。強烈な香である。飲んでいくとその香ばしさが口に広がる。少し湿気たような味わいがする。渋味はミディアムだ。飲んだ後もずっと香気が残る。それほどパンチがあるということだろう。
★	英	2009	キーダパーラ	DJ-56	秋	—	¥1050／ 50g	甘いいい香りである。ライトな感じのダーズリン香。秋摘みにしては渋味が少ない。多少冷めても、ポットの中で長めに置いておくと適度な渋味を味わえる。秀作。
—	リン	2008	サングマ	DJ-443	秋	SFTGFOP1	¥1000／ 30g	秋摘みとしては決して安くはない(30g／¥1000)。黄金糖のような黄色みがかかった水色が眩しい。少しスモーキーな淡い香りがする。味は薄く秋摘みに期待するしっかり感に乏しい。長くおくと水色、味ともそれなりに濃くなる。
—	英	2008	キャッスルトン	DJ-295	秋	—	¥1050／ 50g	漆黒系のダーズリン香。深い香り。味は意外とあっさりしていて、やや渋味がする。コストパフォーマンスはまずまずである。
...	

購入について

英:えいこく屋、リン:TEAS Liyn-an

BOO総研J

19

ダージリン用語集

CL: コローナル、優良なチャイナ種とアッサム種を接木で交配し、
厳選したものを親木として挿し木で増やした茶樹

参考

- 参考

えいこく屋 <<http://www.eikokuya-tea.co.jp/>>

TEAS Liyn-an <<http://www.liyn-an.com/>>